

学校名 熊谷市立奈良中学校
所在地 熊谷市上奈良1038
電話 048-521-2364

1 本校の概要

本校は各学年2クラス、特別支援学級2クラスの小規模校である。素直な生徒が多く、落ち着いて学習や学校生活に取り組んでいる。朝読書についても、生徒は無言でそれぞれの本の世界を読み味わう時間を過ごしている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組

(2) 実践の概要

ア 卒業までに読みたい奈良中30冊の選定

ライトノベルだけでなく、中学生の間にぜひ読んでほしい本を「奈良中30冊」として示している。選定にあたっては熊谷市の作成する読書案内「こころのたから」をベースに、読み続けられる良書や名作から選ぶよう心がけている。

また、「奈良中30冊」は学級文庫として各学級に配置し、いつでも手軽に読める環境にしている。

卒業までに読みたい奈良中学校の30冊



イ 図書室の充実

話題になっている本や、映画などで映像化された本、また、「奈良中30冊」や教科書に出てくる作者の別の作品など、生徒が興味・関心を持ちそうな本も考慮して新刊図書を購入している。

新刊図書だよりや、新刊コーナーを設け、手に取りやすいよう工夫している。

年度 新刊図書入ってます 奈良中図書室



ウ 読書環境の整備と言語活動の充実

全国読書週間に合わせ、校内でも読書週間を設け、学年ごとに「読書の木」に取り組んでいる。

友達にも読んでもらいたい本を、おすすめ理由とともに木の葉のカードに記入し、掲示している。



3 成果と今後の課題

図書館の利用状況や休み時間等の様子から、生徒の読書習慣は定着しているよう感じる。しかし、さらに多くの生徒が図書室を利用し、いろいろなジャンルの本とふれあってもらいたい。そのためにも、図書委員会で掲示物や便りを発行したり、生徒が「図書室に行ってみよう」と思うような取組や工夫が必要である。また、言語活動など学力向上に結び付けた取組として、読書カードやポップや帯づくりなど年間計画に位置付け、取り組んでいきたい。